

令和5年飯田市議会第2回定例会一般質問通告表

令和5年6月12日、13日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	福澤 克憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 災害に備えた防災・減災対策の考え方について</p> <p>(1) 天竜川の状況について</p> <p style="margin-left: 2em;">① 治水対策事業を行った天竜川上流部川路・龍江地区の土砂堆積の状況は</p> <p style="margin-left: 2em;">② 天竜川のしゅんせつの状況は</p> <p style="margin-left: 2em;">③ 防災ハザードマップの浸水区域作成時の河床状況と降雨条件の関係は</p> <p>(2) 地域における防災訓練の実施状況は</p> <p>(3) 避難所指定されている学校施設の活用の考え方は</p> <p>(4) 学校安全総合支援事業の活用の考えは</p> <p>(5) 避難所のトイレ対策について</p> <p style="margin-left: 2em;">① 指定避難所の屋外トイレの改修状況は</p> <p style="margin-left: 2em;">② 災害配慮トイレの考え方は</p> <p>(6) 甚大な被害を想定した被災後の市役所体制について</p> <p style="margin-left: 2em;">① さまざまな相談に対する対応は</p> <p style="margin-left: 2em;">② 被害認定調査の対応は</p> <p style="margin-left: 2em;">③ り災証明書の発行の流れは</p> <p style="margin-left: 2em;">④ 「被災者支援システム」の構築に向けた検討は</p> <p>(7) 今後の方向性は</p>
2	宮脇 邦彦 (公明党) 【 40 分 】	<p>1 人口減少社会を踏まえた地域活性化への取り組みについて</p> <p>(1) 研究を進めている地域通貨の活用について</p> <p style="margin-left: 2em;">① 地域通貨を市民への直接支援に結び付けるには</p> <p style="margin-left: 4em;">ア 地域通貨の特徴とは</p> <p style="margin-left: 4em;">イ 地域通貨は生き残り難いと言われているがどう捉えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦 (公 明 党)	<p>ウ 周辺地域との関係性はどう考えるか</p> <p>エ 導入時期をどう考えるか、その分析は</p> <p>オ どのようなツール(種類及び道具)を使うのか</p> <p>② 先進地事例に見る地域のまちづくりへの活用は</p> <p>ア 地域自治活動等における市民参加のツールとする試みは</p> <p>イ 関係人口増加へ活かす考え方は</p> <p>③ 地域通貨の実現に向けた市長の課題認識は</p> <p>ア 現状の研究から見える課題と今後の進め方は</p> <p>2 健康寿命の延伸について</p> <p>(1) 帯状疱疹を未然に防ぐためには</p> <p>① 帯状疱疹とはどのような病気か</p> <p>② 帯状疱疹ワクチンの効果は</p> <p>③ 帯状疱疹ワクチンの周知方法は</p> <p>④ 帯状疱疹ワクチン接種の助成への考え方は</p> <p>⑤ 市長として、帯状疱疹ワクチン助成をどう進めるか</p>
3	橋 爪 重 人 (新 政 い い だ) 【 30 分 】	<p>1 農地法、下限面積廃止について</p> <p>(1) 下限面積の内容と廃止をどう捉えているか</p> <p>① 廃止となった背景とこれまでの取り組みと今後の取り組みはどのように変わるか</p> <p>ア 下限面積のできた背景と、市の改正以前の取り組み内容はどうかであったか</p> <p>イ なぜ廃止となったか、その背景には何があるか</p> <p>ウ 廃止により改正された事務条件はあるか</p> <p>エ 現在取り組んでいる「人・農地プラン」との関わりはどうか</p> <p>オ 廃止後2カ月間での相談事例や、市の取り組み方はどうか変化したか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	橋爪重人 (新政いいだ)	2 D-51型蒸気機関車の展示について (1) 飯田市としてどうしていくか ① 現在有効活用されていない状態をどう思うか ② 今後どうしていくか
4	岡田倫英 (会派きぼう) 【 40分 】	1 中学校部活動の地域移行について (1) 国のガイドラインが示されて半年経つが、飯田市教育委員会はどう検討してきたか ① 地域移行の目的は明確にされてきているか ② 生徒と保護者、学校、スポーツ・文化芸術関係者との認識共有はどうか (2) 運動が苦手、習いごとがあつて忙しいといった生徒をどう受け止めていくか (3) トップクラスを目指す環境はどのようになっていくか (4) 「ジブン・チャレンジ」などこれまでの活動を生かし、飯田市に合った仕組みを構築していく考えはどうか 2 飯田市立動物園の環境整備について (1) 開園70周年の節目を機に重要な施設だと再認識されてきているが、施設・設備の老朽化に対する市民の反響はどうか (2) 環境整備を進める上でふるさと納税、クラウドファンディングなどの財源確保策は検討してきたか (3) 休日の駐車場不足が課題だと捉えるが、どう対応していくか
5	市瀬芳明 (日本共産党) 【 30分 】	1 市民総健康を目指す取り組みについて (1) 市民の意識に関する基礎世論調査結果をどう活かしていくか ① 健康に関して「どちらかといえば健康」という回答が多いが、心・身の健康の考え方は (2) 出前健康講座の利用状況について ① 企業を対象としているが活用方法をどのように考えるか ② 対象者が受講してからの意識の変化は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	市瀬 芳明 (日本共産党)	<p>(3) 健康寿命の延伸をどう考えるか</p> <p>① 介護予防について</p> <p>ア 健康ポイントの周知は</p> <p>イ 事業展開は</p> <p>② 若年層からの健康づくりの考えは</p> <p>ア 自転車による健康づくりの推進は</p> <p>イ ランニングコース等の整備の考えは</p> <p>2 マイナンバーカードについて</p> <p>(1) 現在の飯田市の状況はどうなっているか</p> <p>① 現在の交付率は</p> <p>② 取得に関する手続きは</p> <p>(2) 個人情報保護をどのように考えるか</p> <p>① 飯田市としての取り組みはあるか</p> <p>② 今後の注意点は</p>
6	永井 一英 (公明党) 【 40 分 】	<p>1 「こども政策」の新たな展開について</p> <p>(1) 子ども・子育て施策に関する経緯と、国が進めようとしている「こども政策」の新たな展開の背景と目的は。また、「こども政策」の考え方と概要は</p> <p>(2) 飯田市が今まで行ってきた取り組みや体制に変更はあるか。また、新たに取り組むことはあるか</p> <p>2 子どもの医療費について</p> <p>(1) 現物給付を進めてきた経緯があるが、現在、子どもが医療機関を受診又は入院した場合に、窓口での医療費の支払いはどうなっているか</p> <p>(2) 国の国民健康保険国庫負担金等の減額調整措置について</p> <p>① 医療費に占める公費の割合と減額調整措置の対象となる公費は</p> <p>② 飯田市における減額調整額は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永 井 一 英 (公 明 党)	<p>(3) 受給者負担について</p> <p>① 飯田市在住の子どもに係る受給者負担金は、レセプトごとに現在500円となっている。500円を飯田市が全額負担した場合、財政負担はどのくらいか。またその場合、国・県などから補助はあるか</p> <p>② 下伊那郡内の町村在住の子どもに係る受給者負担金は、飯田市と同じか</p> <p>(4) 子どもの医療費を現物給付とし、かつ、受給者負担も求めないとした場合について</p> <p>① 課題は何か</p> <p>② 子どもの医療費に対して行政が助成することについて、市長はどう考えるか</p>
7	西 森 六 三 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	<p>1 公共施設マネジメントの現状と課題について</p> <p>(1) 2020年から2029年までの10年間で行われている公共施設マネジメントの第2段階の進捗状況は</p> <p>(2) 公共施設(建物)に関する各地区での検討について</p> <p>① これまでの各地区での検討における顕在化した課題や主な意見は</p> <p>② 地域住民や関係団体と「目的別検討会議」及び「地域別検討会議」を行い地域の問題解決を図るとあるが、その実践例は</p> <p>(3) 事後保全型施設について</p> <p>① 事後保全型に区分された施設の措置は</p> <p>② 取り壊しが決定しても措置されない施設が見受けられるが、優先順をどう考えるか</p> <p>(4) 指定管理料の考え方は</p> <p>(5) 公共施設に関する市民の理解をどのように進めていくか</p> <p>2 自転車に関する事業の現状と課題について</p> <p>(1) 環境や観光など様々な視点があるなかで、これからどの分野を重点施策として取り組んでいくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	西 森 六 三 (会派きぼう)	<p>(2) 自転車ツーリングの受け入れ態勢の現状について</p> <p>① 電車による移動の現状と課題は</p> <p>② 自転車で直接乗り入れが困難な路線(道路不通区間)への認識は</p> <p>(3) 自転車によるイベントの経済効果について</p> <p>① 地域の経済波及につながる取り組みの考えは</p>
8	筒 井 誠 逸 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 土地の有効利用の促進について</p> <p>(1) 農地の利用の現状と将来はどうか</p> <p>① 現状の飯田市の農地面積と遊休農地の割合は</p> <p>② 現在の就農人口の4割が75歳以上と聞いているが、10年後の予想遊休農地の割合は</p> <p>③ 国土利用計画法第8条に規定される第3次飯田市計画と飯田農業振興地域整備計画について</p> <p>ア 農地中間管理機構とはどんな組織か。又、飯田市での活用状況と具体的な例は</p> <p>イ 農地集約の現況はどの位進んでいるか</p> <p>ウ 第3次飯田市計画による土地情報システムの確立はできたか。又、実際の検索方法は</p> <p>④ 人・農地プランに変わる「地域計画」(目標地図)の策定状況はどうか</p> <p>ア 工程表では今年3月までとなっているが進捗状況は</p> <p>イ 今後の予定は</p> <p>ウ 策定にあたっては、様々な立場の人の視点も入れた方が良くと思うがどうか</p> <p>2 農地転用について</p> <p>(1) 飯田市で農地転用が難しいのはなぜか</p> <p>① 飯田市と高森町の農地転用の違いは</p> <p>ア なぜ飯田市は転用が難しいか</p> <p>イ 市長としての見解は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	筒井 誠逸 (新政いいだ)	② 市のリニアビジョンにおける三重心の1つの「交流重心」 の中の「研究開発型企业・機関」の誘致の進め方は
9	小林 真一 (公明党) 【 40 分 】	<p>1 観光振興について</p> <p>(1) 丘の上をドライブインとした取り組みについて</p> <p>① 現状と課題は</p> <p>ア 観光客の反応はどうか</p> <p>イ 観光客を受け入れる事業者の反応はどうか</p> <p>ウ 想定していたドライブインとしての機能は十分果たしているか</p> <p>② 現状は団体客の受け入れが主体であると認識するが、個人客への対応も必要と考えるがどうか</p> <p>(2) サステイナブルツーリズムについて</p> <p>① グリーンツーリズム、エコツーリズムとの違い、また関係性や関連性は</p> <p>② 飯田市の考え方と今後の取り組みと進め方は</p> <p>③ サステイナブルツーリズムの考え方とリニアデザインノートにおける「人のつながりと伊那谷全域へといざなう駅前空間」は親和性が高いと考えるが、今後の取り組みは</p> <p>④ サステイナブルツーリズムの視点から、本物体験やインバウンドへの対応として、エアビーアンドビー・ジャパンとの連携協定が今後更に重要になると考えるが、取り組みの現状は</p> <p>⑤ サステイナブルツーリズムの視点から、周遊滞在型観光の考え方と南信州圏域との連携などの広域的な視点をどう考えるか</p> <p>ア 周遊滞在型観光の考え方として広域的な視点は持っているか</p> <p>イ 周遊ポイントを絞った取り組みとして、サイクルツーリズムがサステイナブルツーリズム、またエコツーリズムに有効と考えるが取り組みは</p> <p>ウ 原風景を活用した広域的な周遊観光の視点としてオートバイによる観光が有効と考えるがどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 (公 明 党)	<p>(3) 観光振興における行政の関わり方としてさまざまなケースが考えられるが、取り組みの方向性は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市が財政投入、出資している団体との関わりは ② 民間事業者との関わりは ③ 観光資源を活用しようとする地域自治組織との関わりは ④ 観光による地域活性化のための支援をどう考えるか
10	下 平 恒 男 (新 政 い い だ) 【 30 分 】	<p>1 これからの地域コミュニティーのあり方について</p> <p>(1) まちづくり組織の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在の課題と今後の方向性は ② 役員の負担軽減に向けた取り組みの状況は <p>(2) 住民全員で組織する地域コミュニティーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 組合未加入者の状況について <ul style="list-style-type: none"> ア 飯田市全体と各地区の組合加入状況は イ 未加入者への飯田市としての対応は ウ 未加入者の地域活動への参加状況は ② 未加入者も含めた組織再編は可能であるか <p>2 建設部関連の地元要望への対応について</p> <p>(1) 改良・補修箇所等報告書の扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 要望取りまとめの時期と方法は ② 直近数年の要望数と対応状況は ③ データ提出による手法に変更可能であるか
11	木 下 徳 康 (新 政 い い だ) 【 40 分 】	<p>1 給食費集金の公会計制度への移行について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現行の私会計における教職員の負担は (2) 他市の公会計移行の状況と飯田市の取り組み状況は (3) 給食費の無償化を導入している自治体があるが、市はどう捉えているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木下 徳康 (新政いいだ)	<p>2 小中学校義務教育期間の学校教育費等について</p> <p>(1) 学校教育費等の保護者負担や補助の現状は</p> <p>(2) 地域で子どもを育てるという観点や若者定住の観点から、今後の学校教育費等の負担の考えは</p> <p>3 フレイル予防について</p> <p>(1) 前社会文教委員会の政策提案で、「ポイント制度」や「施策効果の検証」などを提案したが、現時点での取り組み、捉え方の状況は</p> <p>(2) 今後の取り組みは</p> <p>① 社会的フレイルの予防、克服することは地域コミュニティの醸成にとっても重要と考えるがどうか</p> <p>② ポイント制度のデジタル化への準備の考え方は</p>
12	関島 百合 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>1 地域の自治とコミュニティについて</p> <p>(1) まちづくり委員会の現状について</p> <p>① 組合への加入状況と地域別の傾向は</p> <p>② 役員選出の課題をどう捉えているか</p> <p>(2) 地域コミュニティへの認識について</p> <p>① 高齢者クラブや婦人会、赤十字奉仕団など既存団体の現状と課題をどう捉えるか</p> <p>② 既存団体の歴史を残していくことについてどう考えるか</p> <p>③ 地縁でない新しいコミュニティをどう捉えるか</p> <p>(3) まちづくり委員会をはじめとする各種団体の負担軽減や担い手育成は</p> <p>2 風越公園について</p> <p>(1) 県からどのように移管されているか</p> <p>(2) 風越公園の都市計画変更の手続きはどのようにになっているか</p> <p>(3) 役割は</p> <p>(4) 公園の再整備は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
13	清水 優一郎 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 人口減少時代にあっても「くらし豊かに住み続けられる飯田」にするためには</p> <p>(1) 人口減少社会にどのように対応していくか</p> <p>① 飯田市人口ビジョンの状況は</p> <p>② 人口減少、少子高齢化がもたらす地域社会への影響や問題をどのように解決に導いていくか</p> <p>(2) 少子化における子どもの学校教育環境について</p> <p>① 「これからの学校のあり方審議会」の設置目的と審議状況は</p> <p>② 保護者アンケートの結果とその捉えは</p> <p>③ 複式学級の長所と短所は</p> <p>④ 各地区の出生数を把握し、今後の児童生徒数の予測は立てられているか</p> <p>⑤ 子どもの教育環境の充実のため、保護者を中心とした学校区ごとのあり方の検討が必要ではないか</p>
14	小 平 彰 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 飯田市の子育て環境・教育について</p> <p>(1) 未就学児について</p> <p>① 保育所等利用希望者が希望の園に行けているか</p> <p>② 保育所等の配置はどのように考えていくか。また、保育施設長寿命化計画はどう進めるか</p> <p>③ 保護者との通常と緊急時の連絡体制はどのようにしているか</p> <p>(2) 小・中学生について</p> <p>① ICTを活用した授業について</p> <p>ア 授業への活用状況はどうか。また、どのような授業に活用しているか</p> <p>イ 効果はどのようなものがあるか</p> <p>ウ 教員の指導の仕方にどのような変化があったか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 平 彰 (新政いいだ)	<p>② 中学生の部活動地域移行について</p> <p>ア 国のガイドラインの「移行に向けた環境整備」に市はどのように取り組むか</p> <p>イ 地域移行後の運営主体はどうか。また、保護者の負担はどうか</p> <p>(3) 子育て支援について</p> <p>① 飯田市の放課後児童クラブは足りているか。また、稼働率はどうか</p> <p>② 不登校児童生徒への支援について、中間教室、びーいんぐ及び民間のフリースクールの活用をどう考えるか</p>
15	古 川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 市による交通弱者への支援について</p> <p>(1) 高齢者で免許を自主的に返納された方等への支援について</p> <p>① 令和3年第4回定例会における代表質問への答弁で乗り合いタクシーに関して「運行エリア拡大も含め検討する」とあったが進捗状況は</p> <p>② 市長公約で「移動に困難を伴う方を地域で助け合う仕組みを充実」とあるが具体的には</p> <p>③ 行政として交通弱者への支援をどう考えるか</p> <p>2 古布・古着の回収・活用について</p> <p>(1) 古布・古着の回収・活用について「前向きに受け止める」とあったが進捗状況は</p> <p>① 今後の計画は</p>
16	山 崎 昌 伸 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 宝島社の『住みたい田舎ベストランキング』5万人以上10万人未満のまち」総合部門第1位を、今後のまちづくりにどう活かすか</p> <p>(1) 今年1月に発表になった宝島社のランキングと、4月に新聞報道されたSMOUT(カヤック社の運営する移住に関心のある人と地域とを結ぶ仲介サイトで、2022年度の人気移住地域は、伊那市が1位で飯田市は10位)の結果についてどう捉えているか</p> <p>① 宝島社のランキングとSMOUTのランキングでは評価の仕方も数値の扱い方も異なるが、移住に関心のある人の意識がより反映されているのはSMOUTの方と捉えてよいか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	山崎 昌伸 (新政いいだ)	<p>② 報道では2022年度の伊那市への移住者が2年連続で最多となり、社会動態も転入超過になったとされている。この状況はSMOUTの結果と無関係ではないと考えられるが、どう捉えているか</p> <p>③ SMOUTの結果についてどのように分析しているか</p> <p>(2) SMOUTで伊那市が1位となった結果について「環境や社会に配慮した消費行動など『エシカル(倫理的)な生活』に関心がある20～30代の支持を集めた。」とされている。とすれば、今後更に環境文化都市の構築に力を注ぐ必要があるのでは</p> <p>① SMOUTの結果からは、移住促進には環境への取り組みが重要と考えられるが、環境文化都市を標榜する飯田市としてどう捉えているか</p> <p>② 環境文化都市のひとつのあり方として、移住に関心のある人に環境面で訴えかけるにはどうすべきかを意識した取り組みが必要ではないか</p> <p>③ エシカル(倫理的、環境保全や社会貢献)に対する市民の理解を広げて、日常的にエシカル消費(環境や社会問題の解決に貢献できる商品を購入し、そうでない商品は購入しないという消費行動)が行われるまちづくりに積極的に取り組むべきではないか</p>